教育者の影響力を通じて生徒の学習意欲を創出

適切な教育用テクノロジーが、生徒の関心をどのようにより深い学びへと変えるのか

logicool®





学習意欲のギャップ

生徒の学習意欲は、教育用テクノロジーの成功を示す最も重要な指標ですが、多くの教室には、その意欲を一貫して生み出すための環境が整っていません。初等・中等教育機関のリーダーの圧倒的多数（81%）が、教育用テクノロジーの投資対効果（ROI）を生徒の学習意欲の高さで判断します。[1]その一方で、教室で教える指導者の81%が、効果的で深い実践的な学びを実現することは困難であると述べています。[2]

教育者が教室の前方に留まらなければならない、あるいは実演がクラス全員からはっきりと見えない教室では、学区が期待する成果がいつの間にか阻まれてしまう可能性があります。一貫した学習意欲を実現するためには、学校に信頼性が高く使いやすいテクノロジーが必要です。それがあれば、教育者は特別な IT サポートなしで、自らの専門知識を最大限に発揮できます。

91%

の教育者が、深い学びには統合テクノロジーの統合が不可欠であると考えています。[3]

学習意欲のギャップの核心は、教育者の影響力にあります。生徒の学習意欲は、教育者がダイナミックな授業を展開し、すべての学習者に働きかけることができるかどうかにかかっています。それが可能であれば、学習意欲は自然とついてきます。

ずれを少なくして学習意欲を向上

実用的なハードウェアは、単にデバイスを増やすのとは違い、教育者がやりたいことと、教室の環境で実際にできることの間のずれを意図的に取り除きます。

それにより、教育者は近くにいる生徒だけでなく、すべての生徒が完全に参加できるようにすることができます。教育者がすべての授業で対話能力を十分に発揮し、生徒が学習体験に深く没頭することにより、学習意欲のギャップが縮小します。



教育者の影響力を高める

教育者は、必要な時に必要な場所に物理的に移動し、柔軟な学習体験を提供してすべての学習者を巻き込むことができる時、最も大きな影響力を発揮します。



アクティブなプロジェクト型学習

生徒は、実演や授業コンテンツ、会話などを最前列で体験しながら、自らの学びに主体的に参加する必要があります。

教育者の影響力を高める



66%

の教室で教える指導者が、直接的な指導にハードウェアをかなり取り入れています。[4]

教育者は、学習意欲が、自分がリアルタイムで動き、モデルを示し、適応できるかどうかにかかっていることを知っています。しかし、多くの教室では、ハードウェアそのものによって教壇に束縛されていたり、最悪のタイミングで不具合を起こすセットアップのせいで指導時間を失ったりしています。

その答えは、学校生活を中断させるのではなく、学校生活に溶け込むように作られたハードウェアです。プレゼンテーションからプロジェクト型学習、ELLのサポートから評価に至るまで、適切なソリューションは教育者に自信を与え、生徒の意欲を引き出す、活気あふれる新たな方法を切り開きます。

自問してみましょう

教育者は、すべての席の学生に対して、指導内容の見やすさと双方向性を保ちながら、教室内を自由に動き回れますか？

ホワイトボードや授業の内容は、教室にいる生徒にも、リモートで参加している生徒にも、全員に明確に伝わりますか？

どのくらいの指導時間が、本来の授業ではなく、ハードウェアのトラブルシューティングのために失われていますかか？

テクノロジーソリューション



Reach

授業や実演のための調整可能なコンテンツカメラ

- 360°回転するカメラにより、実演や小グループのプロジェクトをます。
- 片手で簡単に操作できる柔軟性により、教育者はカメラを水平方向に動かしたり、垂直方向に調整したり、360°回転させたりすることができ、斬新な視点を作り出し、その視点をそのままクラス全員と共有できます。
- ガラス光学とスマートオートフォーカスによる高品質な1080p/60fps ビデオにより、コンテンツが色あせたりぼやけたりすることなく、鮮明でリアルに映し出されます。
- あらゆるスペースに適応し、学校ですでに使用されているコンピュータや、会議またはストリーミングのプラットフォームで、USB-C を介した真のプラグ&プレイ体験を提供します。



Spotlight 2

触覚フィードバックとデジタルハイライト機能を備えた高度なプレゼンター

- 教育者が自由に動けるようにし、指導の双方向性を保つことで、生徒の集中力を維持します。
- 最大100フィートのワイヤレス通信可能範囲により、教育者は教室内を歩き回り、小グループの様子を確認したり、少し離れて教室全体を見渡したりしても、授業のコントロールを失うことはありません。
- 高度なデジタルハイライト機能に加え、デジタルポインターとレーザーにより、対面およびハイブリッドの両方の環境で重要なポイントを効果的に伝えることができます。
- 触覚フィードバック搭載のカスタマイズ可能なアクションボタンにより、教育者は手元を見ずにコンテンツを強調できます。
- 急速充電、長いバッテリー寿命、クロスプラットフォーム対応により、いつでもすぐに使用できます。

テクノロジーソリューション



Scribe

没入型学習のための AI 搭載ホワイトボードカメラ

- ホワイトボードのコンテンツを授業の受講者に直接ストリーミングするため、すべての生徒が教育者の教えている内容を視覚的に常に把握できます。
- 会議室システムへの共有を素早く簡単に行える、ワイヤレスの共有ボタンを備えています。
- 内蔵された AI による透過効果で、生徒は教育者を「透かして」、視界を遮られることなくホワイトボードを見ることができます。
- マーカーの色とコントラストを自動的に強調し、画像の細分化で付箋やその他のコンテンツを認識するので、テキストやスケッチをすべての生徒が簡単に読めます。
- ほぼすべてのホワイトボードの表面で使用でき、主要なすべてのビデオ会議プラットフォームと統合できます。
- 柔軟なウォールマウントによる設置と配慮の行き届いたケーブル管理により、IT 担当者の作業時間を削減し、授業を妨げません。

アクティブなプロジェクト型学習を促進



47%

の教室で教える指導者が、テクノロジーを統合したプロジェクト型学習を、より深い学習を実現する上で最も効果的な戦略の1つとして挙げています。[5]

教育者は、実践的でプロジェクト型の学習の力を信じています。適切に選ばれたツールがあれば、その学習モードは、クラス全体、小グループ、個人のさまざまな活動の効果を高めることができます。

42%

の教師が、生徒が教室の反対側から画像やその他の資料を見るのに苦労していると報告しています。[6]

生徒が机の周りに集まったり、教室内で物を回したり、実演を見る順番を待ったりするたびに、学習が少しずつ中断されます。一般的な教室では、このような中断が年間2,000回以上発生しており、10〜20日分の授業時間が失われていると推定されています。[7]

自問してみましょう

すべての生徒が、実際の作業や実演をはっきりと見ることができますか？

教室のテクノロジーを活用して、小グループや個人のプロジェクトを、クラス全員が見て学べるものにしていますか？

生徒はコンテンツを自ら作成して発表していますか、それとも単にそれを消費しているだけですか？

テクノロジーソリューション



Mevo Start

ビデオの録画やストリーミングのための
コンパクトで移動しやすい HD カメラ

- 生徒が独自のポッドキャストあるいはドキュメンタリー風のプロジェクト、実験、物語の課題を主導できるようにすることで、授業の幅を広げます。
- 1080p HD ビデオと6時間のバッテリー寿命により、教育者は高品質の授業、コンセプトの復習、試験対策のリソースのライブラリを作成できます。
- クラスのプロジェクト、実験、プレゼンテーションをキャプチャしてライブ配信し、生徒の関心を引き続けます。



Yeti

授業を録画してストリーミングするための
スタジオ品質の USB マイク

- 4つの指向性パターンにより、単独の講義、小グループのディスカッション、または教室全体の録音に対応します。
- 生徒がプロジェクト型学習のために、独自のポッドキャスト、プレゼンテーション、ビデオコンテンツを録画できるようにします。
- ドライバーのインストールが不要なプラグ&プレイの USB セットアップにより、IT チームは数分で教室全体に導入できます。
- 頑丈なデスクトップスタンドは、毎日の使用にも耐え、教室間の移動も簡単です。



Yeti Orb

クリアで明瞭なオーディオを実現する
コンパクトな USB マイク

- キーボードのクリック音やその他の周囲の雑音を排除しながら、話者の声に焦点を合わせます。
- シンプルな USB-C（プラグ&プレイ対応）接続により、セットアップは簡単明瞭です。
- コンパクトなデスクトップスタンドは場所を取らないため、混雑したデスクやカートの上にも置けます。
- LIGHTSYNC RGB ライティングと G HUB ソフトウェアにより、教育者はマイクの状態を一目で確認し、設定を簡単に管理できます。



予算の現実

83%
の教育者が、予算の制約がすべてのハードウェア購入の決定要因になっていると回答しています。[8]

IT リーダーが、何の情報も参考にせずにハードウェアソリューションを選択することはありません。一方、予算が限られている、あるいは削減されている状況下であっても、教育者は生徒の長期的な成功にとって最も重要と見なすツールに注目するという調査結果が出ています。[9]

71%
インタラクティブパネル

43%
書画カメラ

32%
録画およびストリーミング用ワイヤレスカメラ

その一貫性は新たな機会につながります。教室のニーズごとに個別の購入として扱うのではなく、学区は、耐久性に優れ、使いやすく、サポートも容易な、優れた一連のツールを探すことができます。

ロジクール製品は教育向けに構築

- プラグ&プレイのソリューションが、導入とトレーニングの負担を軽減
- 高い耐久性と交換可能な部品により、交換回数とダウンタイムを削減
- 生徒と教師のニーズを念頭に置いて構築



次のステップ▶

学習意欲のギャップを埋めることは、教育者がすでに持っている能力を高めることです。教育者が最大限の力を発揮して教え、すべての学習者に働きかけることができれば、学習意欲は自然についてきます。

ロジクールは、学習意欲のギャップを埋めるための信頼できるパートナーです。40年以上にわたり、教育者と共にソリューションを開発し、実際の教室でテストしてきたことで培った専門知識を有しています。

ロジクールの教育ソリューションスイートの詳細については、logicool.co.jp/education をご覧ください。

logicool for education

[1,3] ロジクールおよび FullScale による教育者を対象とした調査（2025年）
[2,8] ロジクールおよび THE Journal による教育者を対象とした調査（2025年）
[4,5,7, 9] 同上。
[6] ロジクールおよび EdWeek Research Center（2022年）

© 2026 Logitech, Logicool. All rights reserved.株式会社ロジクールは、Logitech Group の日本地域担当の日本法人です。Logicool、Logi およびそれらのロゴは Logitech Europe S.A. または米国およびその他の国における関連会社の登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に含まれる製品、価格設定および機能情報は、予告なく変更される場合があります。2026年発行。